

総りつつ有る

ダイヤモンド電機の耀く仲間達へ

代表取締役社長CEO兼グループCEO

小野有理

ふと気付けば季節は巡る、社長室の椅子の温まる間も無く連休も夏休みも海外含む東奔西走に明け暮れ、もはや錦秋の砌を迎えることと相成りました。

顧みれば春闌けゆく4月10日、筆舌に尽くし難い数多の艱難辛苦を乗り越え無事迎えること叶った創業80周年。

新緑萌ゆ5月、世界中の耀く仲間達と共に其之歴史有る製造業の矜持を示し、「ものづくり復興」を高らかに謳い上げた世界QC大会。

そして其之宵、蘇生から再生へ信頼回復に努める途上故、奢侈驕慢の誹りを受けぬよう気遣いながらも、ものづくり復興の旗手と為るべき鳥取の地にて開催叶ったささやかな80周年式典。耀く仲間達の「二度とこのような祝典は叶わぬと諦めていた」との声、就任以来初めて出逢えたかもしれないぬ弾けるような笑顔に触れ、万感胸に迫る。同時に、万斛の想いを以て、改めて永の御愛顧を賜るお客様、御仕入先様、銀行様等ステークホルダー方々への衷心からの感謝を幾重にも表すと共に、100周年を駆け抜けるべく

グループを率いるトップとしてダイヤモンド電機の永続と発展を盟う。

汗滲む6月、株主総会に於いては、ダイヤモンド電機が二度と過たぬよう、我が社の耀くべき仲間達が二度と塗炭之苦に喘ぐこととの無いよう、企業統治及び監督機能の徹底強化を期して監査等委員会設置会社へ移行、また、蘇生は果たしたものの再生を遂げるには其之多額の配当から数年に渡って重石の如く圧し掛かっていた優先株についても取得及び消却、正に新生ダイヤモンド電機開闢の時を迎えたと言っている。

季節は過ぎ炎暑の砌、5月の80周年式典に参加叶わなかった現場の耀く仲間達及び式典準備に奔走したDSAPの仲間達と鳥取にて2度目の80周年式典。其之前日には170名近い仲間達がバスに揺られ遠路豊田市迄ラグビー応援。お客様の目標であったろうトップリーグ史上最高観客数達成と同時にラグビー自体も愉しんでくれたのなら幸い、多くの仲間達と共に叶えられた事績に、密かに汗だくの胸を撫で下した次第です。

そして今、高く飛ぶ為膝を屈しながらも新規ものづくり案件がじわじわと積み重なりつつある季節、だからこそ社は、経営理念、三大方針と共に今一度「Ignite Your Heart & Coil the World」、自ら心に火を灯し、自らの手で世界を伐り拓く、ダイヤモンド電機グループがもう一度耀く為に、世界一目指して皆で一丸となって頑張つてゆきましょう！

2017年10月1日